

# 半導体業界のライオンズ・シエアーを目指して

## 凛然として神楽坂からの挑戦

アンカー・ビジネス・システムズ(株) 代表取締役社長

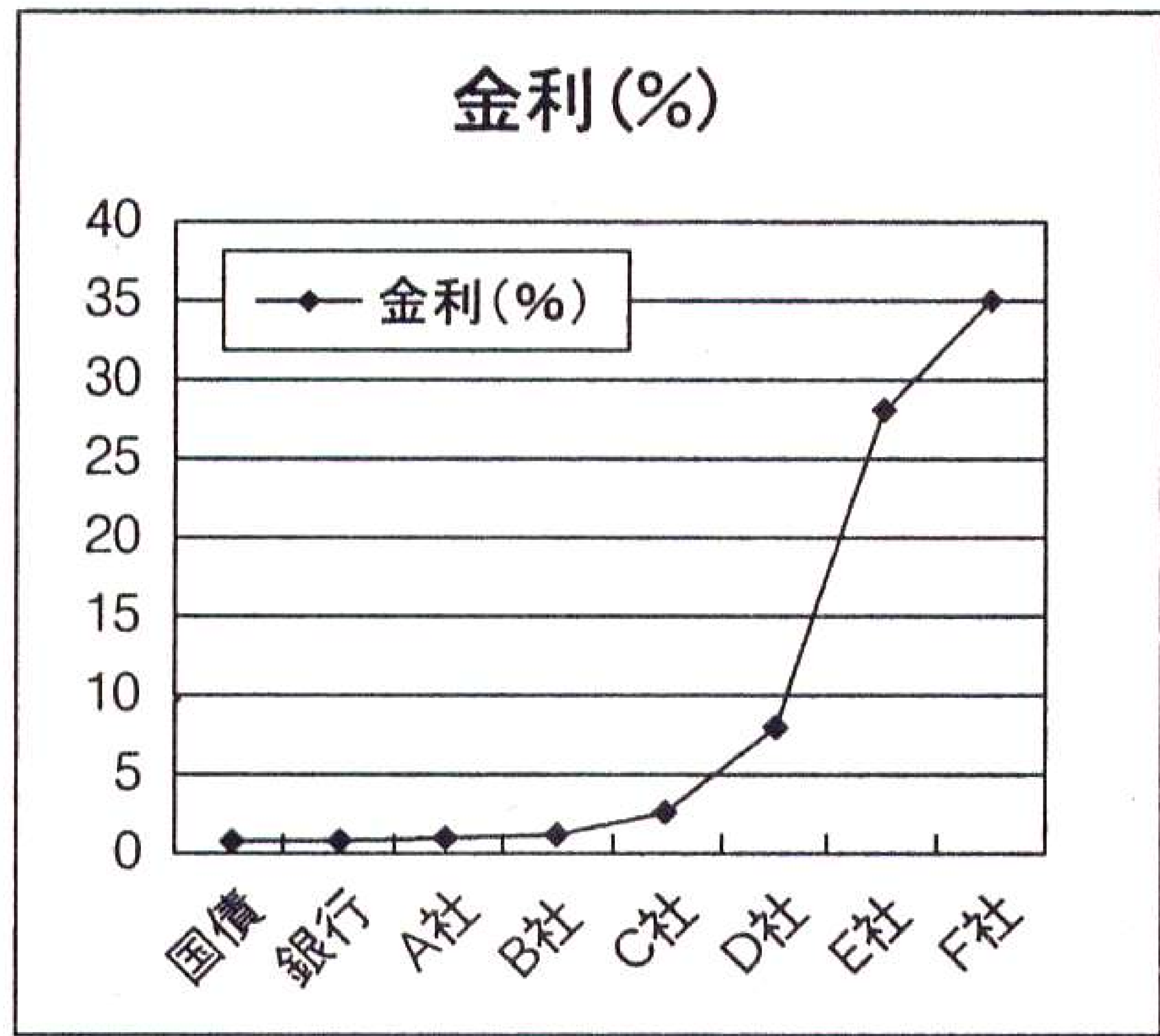
永田 隆一



企業の継続した事業活動には資金が必要です。人件費や仕入れの運転資金や、設備投資がその理由です。

### 《三つの資金調達方法》

借金に頼る…東京電力の一〇兆円、NTTの五兆円は、飛びぬけています。三菱商事なども四兆円の借金があります。中小企業でも売り上げが五〇億円の



会社が、八〇億円の有利子負債を抱えていて、健全に経営をしている会社もごくあります。その会社が

# 事業活動の資金調達の実際とリスク・プレミアムの考え方

内部資金に頼る…非上場会社で、潤沢な現金・預金や売掛金等で流動資産の大きな会社です。とても安定していますが大きな成長は期待できません。また、上場企業の場合、ファンドによる買収の標的にされるリスクが高まります。

増資に頼る…増資は、基本的に永久資本に組み入れられる為、返済の必要のない資金を調達できます。しかし、株主の意見を聞かなければなりませんし、企業価値を向上させて株価を上げる対策に注力しなければなりません。時に経営陣や社員の意向に沿わない経営権の譲渡や買収の憂き目にあうリスクにも直面した

ク・プレミアムと呼びます。基本的には日本国家は倒産しないという事が前提です。日本国は、リスク・プレミアムは、ゼロと考えます。ゆえに、国債の金利(〇・八%)が日本国内における金利のボトムです。次が銀行

と、八〜三五%です。現実には、リスクが高く銀行の融資対象にはなりません。バブルのころは、値上がりした土地を担保にこういった企業へも数%の金利で融資をしていましたが、現在は、厳しい選別がなされております。

取得するという戦略です。二〇〇三年末のベンチャー・キャピタルの投資残高は、米国で二七兆円、ヨーロッパで一七兆円で、日本は一兆円とかなり見劣りしますが、最近増加傾向にあります。国内で行き場が見つからない豊富な資金がリスク・マネーとして新規事業に投入されることで、活

的なものではなく、一長一短であります。《エンジェル・旦那》個人の方で、事業で成功して、多額の資金を持たれておられる方が、ベンチャー企業に出資する際、エンジェル(天使)と呼ばれます。スポンサー・旦那と言った意味合いです。かつての仕事仲間や部下・友人に個人的に出資するものと、目利きの専門集団に投資先候補企業の発掘・選別を委託する本格的な形態の二に分かれます。興味深いデータがあります。エンジェルの前者の形態の企業の成功率が高いのです。経営者は、一様に『自分を信じてくれた個人投資家の方々の顔が浮かび、命をかけて失敗は出来ない。』と継続生存(サバイバル)への大きな執着心が高い成功率の理由であります。(隔週掲載)